

ハ新員組合ニ漸心及
合ニ一卦スルニイハシテ就合此ト一斐ハ鬱蘭浦員百六十名ハ委任權
滿テ先端ニ基キ此ハ背ニ關スル一也々交番廻シ權火ミ日本新員組
不當イハ解ハ御嘉慶策モ圖リ也ハ壽果十月二十六日ハ交遊東興樂
員組ハ不滿ヨミテ承諾シモ此亦即時ハ御懶飄員全體ハ會旗ハ發送ミ
當・難懲半當・難懲半當・半越國音ミ十月二十二日難懲ヒテ御懶
震災ニ因ベテ難害壹千萬圓モ生ヒテ始ニシテハ解飛ヒテ御懶半
日本懶飄モハ對來國懶飄ハ半當モ餘興ミテ出ヒテ新懶界ハ不既
(日本懶飄社員組合可懶立判(案一辯))

當懶事 添田 始一郎 謹

大五十二年十一月八日

財團法人協調會大阪支所

財團法人協調會大阪支所

海員組合テハ二十八日海員俱樂部テ幹部會ヲ開キ發表ノ撤回ヲ迫
ル事トナツテ同組合副組長濱田國太郎ヲ上京セシメ會社側ト交渉
ニ交渉ヲ重ねタ處會社側テハ
一、屬員ノ滿期退職手當年限三十年ヲ二十五年ニ短縮スル事
一、屬員ノ普通退職手當ハ會社規定ノ最高額ヲ支給スル事
以上ノ二項ヲ示シテ之レデ妥協セントシテ航海手當ニ關シテハ一
歩モ讓ラヌノテ濱田副組合長ハ如何トモスル事ガ出來ズ五日歸神
シ同夜神戸市多聞通湊東俱樂部テ組合幹部ノ秘密會ヲ開催シタ、
席上テ海員組合樽崎組合長ハ左ノ演説ヲシタ。
樽崎氏ノ演説

即ち今回會社が運賃の自然減收と震災に基因する損害の莫大な
るを以て手當の半減を斷行するも吾人は未だ從來の會社は株主
配當一割五分が何等減給される云ふ聲明を聞かず尙會社は震
災損害云々するも船員側に於ても今回の震災にて約二千人は俄ニ